スコーピング WG 別添資料

2026 年 9 月 7 日

No.1（奥村委員）：JICA の他の農業関係の技術・協力プロジェクトや他のドナーの農業関連プロジェクトの情報

(1) 日本による支援

近年の我が国によるカンボジア農業セクターへの支援としては、技術協力プロジェクト「種子生産・普及プロジェクト（実施機関：MAFF）」等が、灌漑セクターへの支援としては、有償資金協力事業「プノンペン南西部灌漑・排水施設改修・改良計画（実施機関: MOWRAM）」や、技術協力プロジェクト「灌漑排水国家標準設計基準策定プロジェクト（実施機関: MOWRAM）」が実施されてきた。

我が国はカンボジアにおける最大級の二国間開発パートナーの一つであり、1990 年代以降、農業・灌漑分野を重点支援分野として継続的な協力を実施してきた。我が国の外務省による国別開発協力指針（2024 年 4 月）では、対カンボジア ODA の基本方針として、2030 年までの高中所得国入りの実現に向けた産業振興と持続的で自立的な経済発展と活力あふれる社会づくりへの支援を行うものとしている。

この基本方針に基づく重点分野として、1) 経済成長をもたらす産業の変革と発展、2) 持続可能で公平な成長の実現、3) 安心・安全な社会の実現が示されており、中でも 2) 持続可能で公平な成長の実現に対しては、「フードバリューチェーン構築を見据えた農業農村振興や地方インフラの整備等を支援することにより、都市と地方の格差是正を後押しする」とされている。

(2) 他ドナー支援

本事業対象地区が位置する 3 州（Takeo、Siem Reap、Banteay Meanchey）およびその近隣州において、灌漑施設の改修、農業バリューチェーン強化、気候変動適応、農家組織化、市場アクセス改善を目的とした複数のドナーによる農業・灌漑セクターへの支援が実施されている。以下は、主要な関連プロジェクトの概要を整理したものである。

1) Climate-Friendly Agribusiness Value Chains Sector Project（CFAVC）

CFAVC は、アジア開発銀行（Asian Development Bank：ADB）および緑の気候基金（Green Climate Fund：GCF）、カンボジア政府の資金による農業バリューチェーン強化事業であり、Kampong Cham、Tboung Khmum、Kampot、Takeo 州の 4 州を対象に、農業バリューチェーンの競争力向上、気候レジリエンス強化、農業インフラ・加工・品質管理能力の改善を目的としている。主たる実施機関は MAFF であり、MOWRAM や農村開発省（Ministry of Rural Development：MRD）等複数の省庁と連携して実施されている。バリューチェーン強化の対象作物として、コメ、トウモロコシ、キャッサバ、マンゴーが挙げられている。

表 2.6.1 CFAVC の概要

項目	内容
事業目的	農業生産性の向上、気候変動への耐性の強化、品質と安全性の向上、付加価値の創出、および農村世帯の所得向上
対象地域	Kampong Cham、Tboung Khmum、Kampot、Takeo 州
内容	成果 1：アグリビジネスにおける重要なバリューチェーンのインフラが改善され、気候変動へのレジリエンスが強化される。 成果 2：気候スマート型農業（Climate-smart agriculture）およびアグリビジネスが促進される。

項目	内容
	成果 3：気候に配慮したアグリビジネスを可能にする環境が整備される。
予算	141 百万 USD
資金源	ADB、GCF、カンボジア政府
実施機関	MAFF、MOWRAM、MRD
期間	2018 年～2026 年

出典：Project Administration Manual, Project Number: 48409-002 (ADB)

2) Irrigated Agriculture Improvement Project（IAIP）

IAIP は、ADB およびオーストラリア政府の資金協力による灌漑改善事業であり、Battambang、Kampong Cham、Kampong Thom、Takeo 州の 4 州で灌漑施設の近代化、気候・災害レジリエンス強化、水管理能力改善を目的として実施されている。

事業内容は、灌漑システムの効率性・気候レジリエンス向上、政府職員および FWUC の O&M 能力強化、営農改善、国家水資源データ管理センター、水資源情報システム、灌漑資産管理システム整備を含み、43,500 ha への用水供給および 291,847 人への裨益が計画されている。

表 2.6.2 IAIP の概要

項目	内容
事業目的	灌漑施設の近代化、気候・災害レジリエンス強化、O&M 能力改善
対象地域	Battambang、Kampong Cham、Kampong Thom、Takeo 州
内容	成果 1：灌漑システムの効率性および気候レジリエンス向上 1) 灌漑施設改修・近代化 2) FWUC 強化 3) 営農支援 成果 2：水資源管理の改善 1) 国家水資源データ管理センターの設立 2) 水資源情報システムの構築 3) 灌漑資産管理システムの整備
予算	208.26 百万 USD
資金源	ADB、オーストラリア政府
実施機関	MOWRAM
期間	2019 年～2027 年

出典：Project Data Sheet: Irrigated Agriculture Improvement Project (Project No. 51159-002) (ADB)

3) Agriculture Services Programme for an Inclusive Rural Economy and Agricultural Trade （ASPIRE-AT）

ASPIRE-AT は、国際農業開発基金（International Fund for Agricultural Development：IFAD）および欧州投資銀行からの資金提供を受け、MAFF が実施する農村所得向上プログラムである。ASPIRE-AT は、2015 年から 2022 年にかけて実施された「イノベーション、レジリエンス、普及のための農業サービスプログラム」の後継事業にあたり、輸出および国内市場を基盤とした包摂的かつ持続可能な農業セクターの成長による農村部の生産者や労働者の所得向上を目標としている。

対象となる受益者は、10 万人の小規模農家と、雇用機会を活用する準備が整っている 2 万 5,000 世帯の無地所有者または土地を十分に持たない世帯とし、これらのグループへの支援は、約 500 の生産者組織および中小農業企業への直接支援を通じて行われる計画である。

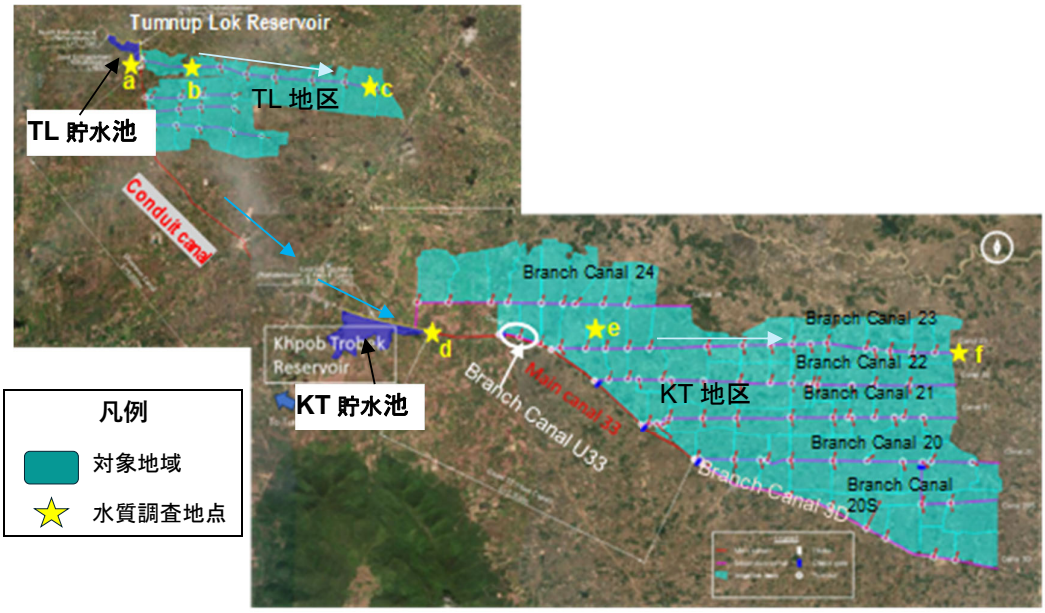
対象地域はカンボジア全国とされ、初年度に選定されたバリューチェーンは、1) 国内市場向け野菜、2) 国内市場向け在来種鶏、3) 輸出向けトウモロコシ、4) 輸出向けカシューナッツ、5) 輸出向け生鮮果物、6) 輸出向け加工果物、および 7) 輸出向けコショウとなっている。

表 2.6.3 ASPIRE-AT の概要

項目	内容
事業目的	輸出市場と国内市場を基盤とした包摂的かつ持続可能な農業部門の成長による農村の所得向上
対象地域	カンボジア全域
内容	成果 1： 小規模農家や生産組織の生産資本に対する投資が生産性を高め、国内外のバリューチェーンにおける競争力を高める。 成果 2： 生産者組織とアグリビジネス企業とのパートナーシップがマーケットアクセスを改善する。 成果 3： 生産者組織の能力が向上し、小規模農家の生産物の品質や規格が市場の要求に適合する。
予算	194.05 百万 USD
資金源	IFAD、欧州投資銀行、カンボジア政府
実施機関	MAFF
期間	2022～2030 年

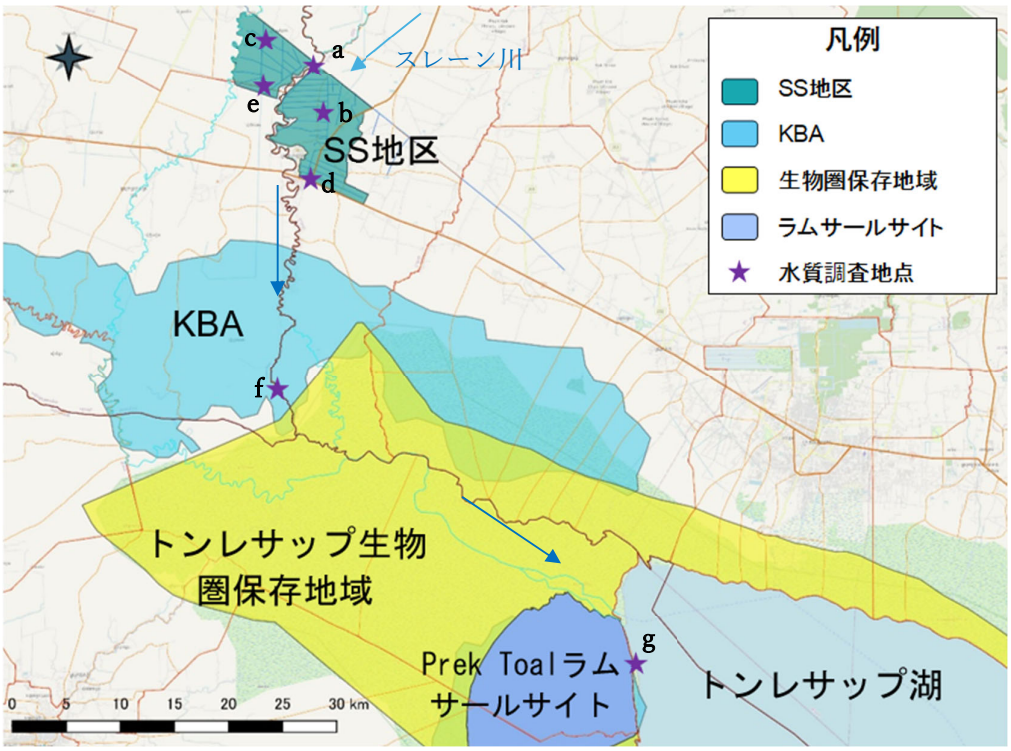
出典：About ASPIRE-AT (MAFF)

No.37、No.38（奥村委員）、No. 33（鎌田委員）：水質の調査地点



出典：JICA 調査団

図 1 ：KT&TL 地区における水質調査地点



出典：JICA 調査団

図 2：SS 地区内および下流域における水質調査